

課題が多い 指定廃棄物 最終処分場



菅原 久男 議員

議員 原発事故に伴う汚染稻わらの一時保管の早期解消と、指定廃棄物最終処分場候補地からの除外が大きな課題であるが、今後の見通しは。

市長 詳細調査のうち文献調査、踏査調査、ボーリング調査など、いずれの段階も3市町の足並みを揃えて実施することが条件である。詳細調査の終了後、国のある識者会議で調査結果をもとに安全性などの評価を行い、環境省が一か所の候補地を提示することになっている。

議員 現在、詳細調査は、加美町の理解が得られず、積雪の影響もあり、雪解け後の再開となっている。

議員 当県に設置される最終処分場には、汚染稻わらの焼却灰のみを保管することと認識しているが、間違いないか。

市長 一キログラム当たり8千ベクレルを超える放射性セシウムを含み、環境大臣が指定した指定廃棄物が対象となる。具体的には、廃棄物焼却灰、下水汚泥、浄水発生土、稻わらなどが

議員 対象となる。

第2大林農工団地の振興に全力を

市長 同団地は、平成27年10月30日に完成予定で、進捗状況と、企業誘致の見通しは。



地の利を活かした第2大林農工団地

の両工業団地の整備に着手したことと共に、より積極的な誘致活動を行っていく。立地に関する企業名などを公表する。

の公表は、企業からの信頼を損なわないよう慎重に対応し、決定後は速やかに公表する。



三塚 東 議員

万全か 「災害弱者」の 名簿作成と提供

議員 国と県は、体の不自由な高齢者や障害のある方など、「災害弱者」と言われる要支援者の名簿作成、防災組織などへの情報提供を市町村に義務付け、この名簿を民間団体にも提供できることにした。

- ①市の要支援者名簿の作成状況はどうか。
- ②民間団体にも提供できる仕組みになっているのか。

市長 ①災害弱者を地域の共助で支援するため、本人の希望や同意を得て「災害時要援護者名簿」を作成し、

議員 市は、県立宮城大学医学部による「栗原キャンパス構想」実現を推進する目的で、医学部設置推進連絡協議会を設立し、市民の解散すべき連絡協議会

民生委員に配付している。また、地区行政区長会や自主防災組織の代表とは「個人情報取扱協定」を結び、配布している。

名簿を提供する民間団体の範囲は、各自主防災組織や各自治会と考えている。



高齢の方は地域の共助が必要

意識高揚に努めてきた。しかし、文科省は、東北に1校の医学部新設を東北薬科大学の構想に決定した。医学部設置推進連絡協議会は解散し、推進室は組織改編すべきではないか。市では、東北薬科大学が認可申請を行うまでの間、経過を注視したいと考えており、当協議会の継続についても、10月31日の協議会で同意を得ている。

市長 現在、東北薬科大学は、3月の認可申請に向かって準備を進めていると思う。

市では、東北薬科大学が認可申請を行うまでの間、経過を注視したいと考えており、当協議会の継続についても、10月31日の協議会で同意を得ている。

米価暴落に 具体的な 支援制度の創設を



菅原 勇喜 議員

国保会計への影響は

市では、農業経営維持資金は持資金の利子補給を制度化したが、他に、例えば種糲代の助成など、具体的な支援制度の創設について考えているか。

市長 農業経営維持資金は11月28日現在87件、5629万円の融資申込み状況となっている。栗っこ農協は、独自に32万俵の環境保全米に対し100円の上乗せと、農機具整備費の10%の割り引きを行うと伺っている。

**女川原発再稼働に
反対の意思表示を**

議員 女川原発の再稼働に対する意思表示を求めるが、どうか。また、新電力への

議員 国保会計の税収不足が心配される。その際は、税率を引き上げることなく、基金や一般会計からの繰り入れで対応するよう求めら

がいかがか。

**アベノミクスの
波及効果**

議員 「アベノミクス」による栗原市民への影響は現状において、地域経済や市民生活にその効果が及んでいるという実感はない。



米の概算金は清涼飲料水の半値以下

電柱敷地料の 一部を 自治会へ



小野 久一 議員

議員 市道や農道法面の草刈り作業を自治会などに頼つてはいるが、電柱や電話柱などの他の柱など多くの障害物があり、危険である。市に入る敷地料の何割かを自治会に還元すべきでないか。

市長 自助・共助の精神で地域の皆さん方が力を合わせ、住みよいまちづくりを進めほしい。市が徴収した占用料は一般財源として充當し、コミュニティ組織一括交付金などに充てられている。また、どういうやり方があるか検討させてほしい。

議員 消火栓設置は150ミリ管以上でなければならぬか。防火水槽の設置の方策と、今後の消防施設整備の考え方を示せ。

市長 昭和39年消防庁告示「消防水利の基準」で定められており、口径150ミリ未満だと共倒れになる。防火水槽の設置は市有地を基本としているが、水量不足が懸念される所は、寄付や買い上げなどを考慮して

**要望に応える
消防施設整備を**

議員 10月に深山嶽の踏査調査が行われ、その後、環境省、有識者会議委員、宮城教授との意見交換会がもたれ、「専門家同士では意見の異なる点は無い」のであれば、ボーリング調査など必要ないのではないか。

市長 環境省はあくまでも3候補地で調査を行い、選定するとしている。市はこの調査で不適地を立証する。



道路側面に林立する電柱など

**ボーリング調査は
必要なのか**

整備を図っていく。

会を開催



瀬戸健治郎議員

バス通学 子どもたちの 体力低下はないか

議員

将来、栗原市を背負つていいく子どもたちは、心身ともに、たくましくなくてはいけない。

運動能力調査の結果をどううとらえているか。また、学校再編で、バス通学になった影響はないか。

教育長 小学校5年生男子は、やや下回っているが、5年生女子、中学校2年生男女とも、全国平均を上回っています。今後、運動能力調査結果を分析し、各校のさらなる体力向上を目指す。また、学校再編が直接体

議員

力低下に影響をおよぼしてはいないと捉えている。

すべての幼稚園で給食を提供すべき

教育長 給食の配給は、安全・安心や保管などの基準があり、プラットホームや配膳室の整備に多額の経費がかかることから、幼保一体施設の完成年次に合わせ、順次給食を実施していく。

県道

若柳築館線の整備

峯境橋から川原地区までの区間は、高校駅伝のコースもある。接続道路も含め、両側への歩道設置を願う地域の要望に応えていくべきではない。

市長 地域の安全が確保されるよう、両側歩道の設置を県に要望していく。また、接続道路については、ほ場整備の進捗を見ながら、一体的に整備する。



みんなで楽しい幼稚園の給食

議会活動 栗原市議会では、市民の皆さんに日ごろの議会活動を報告するとともに、議会に対するご意見を拝聴する場として、市内10地区で議会報告会を開催しました。

総務 常任委員会関係

栗原市議会では、市民の皆さんに日ごろの議会活動を報告するとともに、議会に対するご意見を拝聴する場として、市内10地区で議会報告会を開催しました。参加された157名（昨年より38名増）の方から、議会や市政に対し、101項目にわたる貴重なご意見をいただきました。主な意見と回答は、次のとおりです。また、議会報告会の報告書は、栗原市ウェブサイトで公開しています。

議会活動 終了している。現地調査などは行っているのか。

事務調査 各常任委員会の所管事務調査は、すべて1日で

回答 必要に応じて、現地調査も行っている。そのほか、取りまとめのための委員会なども開催している。

回答 消防団員は、ライフスタイルの変化などに伴い減少している。市民の生命と財産を守るために、団員確保は喫緊の課題である。団員確保を強く望む。

**産業建設
常任委員会関係**

身世帯など、支援を必要とする世帯情報は提供されなかつた。緊急時の第三者への情報提供に関し、事前の承諾をとるべきでないか。

回答 災害時に、支援が必要となる方の個人情報の取扱いを統一することは、不可欠であり、市と前向きに検討したい。

回答 平成26年産米の概算金の急落は衝撃であった。

回答 荒廃農地を解消しようと努力などが繁茂し、難しい場所もある。また、農地中間管理機構を通じて農地を貸したいが、条件不

議会から栗っこ農協に対し、販売方法の見直しや、より有効な転作作物の研究などをを行うよう働きかけてほしい。

回答 市では、栗っこ農協と協議し、農業経営維持資金を創設して利子補給を行う。議会も、本市の稲作を守っていくため、市や農協と連携し、より有効な取り組みを研究していくたい。

回答 荒廃農地を解消しようと努力などが繁茂し、難しい場所もある。また、農地中間管理機構を通じて農地を貸したいが、条件不



活発な意見交換があった議会報告会（栗駒地区）

10月28日～30日

議会報告

利な農地や放射能の影響もあり、借り手が出てこない事態が懸念される。

回答 難しい問題であると認識している。農地中間管理機構は、貸し手の受け付けもしているので、まずは、手を挙げてほしい。

問 農地中間管理機構の活動が開始されたが、当該機構の活動を待つだけでなく、市と農協などがタイアップして、地域状況を考慮しながら、早めの取組みを進めてほしい。

回答 関係機関の連携した

推進体制については、参考意見として承る。

問 河川の支障木の中に

は、樹齢が高く、水面が見えなくなっている箇所もある。どう働きかけたらよいのか。

回答 行政区長を通じて総合支所に要望を伝え、建設部から県に働きかけることになる。

問 市長は、「子育てしやすい栗原」と言っているが、いまだ保育所の待機児童が多い。「子ども・子育て支援法」が平成27年4月から施行されるが、子どもたちにやさしい栗原となるよう、議会も努力してほしい。

回答 平成27年4月から、各種事業が確実に実施できるよう、議会も努力する。

問 スクールバスの利用は距離で決まっているが、空席がある場合は、柔軟な対応を求める。

回答 これまで、市へ柔軟な対応を求めてきた。今後も求めていく。

問 学校再編後の施設の利活用は、どのように進められているのか。

回答 旧花山中学校は介護施設に、旧沢辺小学校は市教育研究センターに、旧津久毛小学校は学校給食センターに、それぞれ決定している。旧宝来小学校と旧萩野第二小学校は、10月まで民間事業者を公募している。その他は、まだ方向性が決

定していない。

問 栗原中央病院は、中核病院の役割を果たしていない。夜間救急や難病の場合は、すぐに大崎市民病院に転送される。

回答 第三者による調査機関については、法的に調査が可能かどうか確認するが、ご意見として承る。

問 市長は、「子育てしやすい栗原」と言っているが、いまだ保育所の待機児童が多い。「子ども・子育て支援法」が平成27年4月から施行されるが、子どもたちにやさしい栗原となるよう、議会も努力してほしい。

回答 平成27年4月から、各種事業が確実に実施できるよう、議会も努力する。

問 栗原中央病院は、透析や脳神経系のような高度医療体制は採れない。また、医師の確保や病院の役割分担、個人病院との関わりも大切にしなければならない。

回答 個人病院との関わりも大切にしなければならない。

問 市長は、一貫して深山嶽が不適地であることを環境省に証明していくとの姿勢である。なお、詳細調査は3候補地が同時に行うこととしているため、加美町の反対行動もあつて、進行していない。

回答 市長は、一貫して深山嶽が不適地であることを環境省に証明していくとの姿勢である。なお、詳細調査は3候補地が同時に行うこととしているため、加美町の反対行動もあつて、進行していない。

問 市長は、一貫して深山嶽が不適地であることを環境省に証明していくとの姿勢である。なお、詳細調査は3候補地が同時に行うこととしているため、加美町の反対行動もあつて、進行していない。

回答 市長は、一貫して深山嶽が不適地であることを環境省に証明していくとの姿勢である。なお、詳細調査は3候補地が同時に行うこととしているため、加美町の反対行動もあつて、進行していない。

問 市長は、一貫して深山嶽が不適地であることを環境省に証明していくとの姿勢である。なお、詳細調査は3候補地が同時に行うこととしているため、加美町の反対行動もあつて、進行していない。



三塚 真也さん
(鶯 沢)

世の農業とくももじ

「コメの値段が高く感じられた時は、過去の出来事のようでした。多様化する食文化の中、農政は変化を余儀なくされ、コメは市場原理に任せられました。直接支払制度と生産調整の見直しの話しが出てきたのがから、思いなしにコメ農家の所得倍増の道が遠退いたような気がします。現状を考えると、コメに対する依存を軽減しようとは思つのですが、今は及ばず、未だ見通しが立っていません。聴して退くことを勧めなくもなかつたのですが、それには、まだ早いように思ふのです。みんなの問題を抱えようと、岐路に立たされたのいや、やる事は決まつてこぬのです。土を耕し、種を蒔くこと。

天候はむちろん、農政上おで左右せられる今の農業ですが、時代の潮流を捉え、自らが発信すべしとか、私は、もう一度始めたい。かつて、父がやつしたものが。

私もひとつこと

より良い施設を！



菅原 忍さん
(金成)

金成フットサル場は、創設2年目にして県スポーツ少年団軟式野球交流大会で優勝という大きな結果を残しました。しかし、その影には、練習施設に関する問題があつた。小中学校の統合により、校外の施設を使用せざるを得ない状況の中、私たちはこの夏、使わせていただいたのが金成健康広場でした。スポーツをする上では、とても良い環境でしたが、平成23年の大震災による水道管が破裂し、熱中症対策のための水あげができるなどの不便な点もあり、充分に練習できることができませんでした。

子供たちを応援する私にとっては、ゆつと身近な場所で、より効率的な練習をさせてあげたいと思っていました。そのためには市役所・市議会の皆様の方が必要不可欠です。子供たちが、より快適にスポーツができるよう、改修をおひこべお願いします。

あとがき

新年、明けましておめでとうございます。皆様方にとつて今年は、昨年以上に良き年となりますようご祈念いたします。

栗原市議会は、昨年の12月議会で「指定廃棄物の処理は、当該指定廃棄物が排出された都道府県内で行う」という基本方針の見直しと、

「汚染牧草など8000ベクレル以下の放射性廃棄物の処理についても、国および東京電力の責任で対応する」ことを求める意見書を可決しました。

今年は、指定廃棄物最終処分場建設問題の正念場です。これからも最終処分場を深山嶽に造らせないようともに頑張りましょう。

高橋 勝男

広報編集調査特別委員会									
議長	石川正運	委員長	佐々木脩	委員	佐々木脩	委員	佐々木脩	委員	佐々木脩
副委員長		委員	佐々木脩	委員	佐々木脩	委員	佐々木脩	委員	佐々木脩
委員	小高野	委員	佐藤	委員	佐藤	委員	佐藤	委員	佐藤
員	橋	員	藤	員	原	員	原	員	原
員	久勝	員	千久	員	勇範	員	喜	員	脩
員	一男	員	悟昭	員	涉喜	員		員	